

暮らし、定住、未来創造



新庄市役所 電話 22-2111
ファクス 22-0989

新庄市ホームページ 新庄市 検索

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>

メール info@city.shinjo.yamagata.jp

広報 しんじょう12

2013 SHINJO PUBLIC RELATIONS NO.672



Special Edition

特集

理想郷に
生きた男たち

イーハトーブ

没後70年記念

松田 甚次郎展



JINJIRO MATSUDA
70th
ANNIVERSARY
EXHIBITION

2013 12/14 土 → 2014 1/12 日 雪の里情報館



土舞台に 込められた思い



鳥越八幡神社境内にある「土舞台」をご存知ですか? 当市出身の「松田甚次郎」が、宮沢賢治の「農村劇をやれ」という教えを実践するために作った場所です。タイトルを賢治が付けたといわれる劇「水涸れ」を皮切りに、土を盛って作った野外ステージでの上演は36回を数えました。演劇は農村が直面する苦悩がテーマとなっており、彼は、数え35歳の若さで亡くなるまで、農村の活性化に力を注ぎ続けたといえます。

広報 しんじょう12

2013 SHINJO PUBLIC RELATIONS NO.672

目次◎CONTENTS

特集◎理想郷に生きた男たち

郷土の偉人 松田甚次郎……………4

雪の季節となりました……………8

減塩de健康……………12

新庄市子ども芸術学校……………12

いきいき仕事人! しんじょうの農業奮闘中!……………13

まちとぴ……………14

子育て+教育チャンネル……………16

市民活Do!／司書NAVI……………17

お知らせ……………18

温故知新庄!?……………20

10 月末現在の新庄人 38207 (38,606人)

女 20,093人
(20,323人)

男 18,114人
(18,283人)

10月
の異動

出生 36人 (22人)
死亡 46人 (37人)
転入 84人 (107人)
転出 106人 (84人)

世帯数 13,726世帯 (13,753世帯)

※住民基本台帳法の改正で外国人を含む人口集計になりました。()は1年前の日本人+外国人の数です。

市長コラム

新庄市長 山尾順紀



台湾誘客プロモーションと 市民号

11月6日～10日、第35回新庄市民号が、台湾の「新北市新荘区」を訪問しました。新庄観光協会の押切会長が、「市がインバウンド事業を行っているのだから、第35回の記念号は台湾へ!」と決断し、実施されました。「相手に来てもらうよう言うだけではダメだ。まずはこちらから訪問することが大切」という会長の言葉は、これまで、市のみならず、県内観光事業の先頭に立ってきた方だけに、大変重みがあります。

新荘区では、区長や新北市関係者も同席しての昼食交流会が行われました。そこで、伝統太鼓や指人形、台湾先住民族の踊りなどが披露されましたが、指人形の細かな技には一同目が釘付けとなりました。

その後、一般参加者は観光へ、台湾誘客プロモーション新庄・最上地域訪問団の一行は、地元旅行会社との商談会に臨みました。台湾では「おしん」が人気で、おしんに扮した職員も応じた商談会は大いに盛り上がり、旅行者の方と一緒に記念写真を撮っていました。

インバウンド事業も3年になりましたが、今回、地道に事業を継続することや受け入れ体制の整備の必要性を感じてきました。天気にも恵まれた今回の市民号でしたが、インバウンド事業としても、台湾からの誘客に向けた思いを、先方に伝えることができたと思います。参加者の皆さんに感謝申し上げます。



▲見る人の目を釘付けにする指人形の演技

Special Edition

特集

郷土の偉人

野に起ち、土に叫ぶ

松田甚次郎



※写真は土舞台上で上演された甚次郎の生涯を描いた朗読劇

野に立ち、土に叫ぶ

松田甚次郎の生涯

昭和の初め、宮沢賢治の教えに従い数々のことを成した松田甚次郎。
その実践記録『土に叫ぶ』などの著作で、当時全国的に有名な人物でした。
彼の生涯を振り返り、その遺したものを今一度考えてみませんか。

■生い立ちと出会い

松田甚次郎は明治四十二年三月三日、市内鳥越の自作兼地主の裕福な農家に長男として生まれました。そして日新小学校を卒業後、村山農学校を経て大正十五年に盛岡高等農林学校農業別科に進学します。在学中の大正十五年四月一日岩手日報朝刊に掲載された、羅須^{ろす}_{ちんきようかい}地人協会設立に寄せて宮沢賢治が語った記事を見た甚次郎は、卒業間際の昭和二年三月に賢治を初めて訪ねます。その時、賢治から「小作人たれ」「農民劇をやれ」という二つのことを諭されたといいます。感銘を受けた甚次郎は賢治の教えを信じ、小作人として生きることで農村振興を図ろうと決意したのです。

■最上共働村塾の設立

村に帰った甚次郎は、父に六十アールの田を借り小作人となりました。同時に、村の青年を集めて鳥越倶楽部を結成し演劇活動を始めます。彼らは、鳥越八幡神社に自分たちで土舞台を築き、三十六回もの上演を行いました。

また、甚次郎は、農業恐慌により疲弊していく村の生活を守るために、有機農業を主とした自給自足的農業経営を実践、村に消費組合などを組織するとともに、禁酒や婦人の地位向上運動などに力を注ぎました。これらの甚次郎の活動は当時あまりにも型破りだったので、一部の人々には、左翼的危険思想の持ち主と疑われました。その一方で、彼の活動を知った

小作人たれ、農民劇をやれ

宮沢賢治 (1896-1933)

花巻市生まれ。盛岡中学、盛岡高等農林学校卒。1922年花巻農学校教諭。1924年、心象スケッチ『春と修羅』、童話集『注文の多い料理店』刊行。1926年羅須地人協会設立。農民の生活の向上のために尽くすが、急性肺炎のため37歳で永眠。

資料提供

林風舎

1926

(大正15年)

盛岡高等農林学校
農業別科に入学

1923

(大正12年)

日新小学校卒業
村山農学校入学

1909

(明治42年)

3月3日、稲舟村(現新庄市)
鳥越の旧家の長男として誕生

松田甚次郎 1909-1943



▲鳥越八幡神社の境内を上がっていくと、そこが土舞台



▲鳥越倶楽部による上演

甚次郎実践の場 鳥越土舞台

昭和八年、甚次郎は有栖川宮記念厚生資金を授与されます。すると、それまでの彼に対する周囲の見方も一変しました。そして、この資金をもとに、村人の協力を得て「鳥越隣保館」を建設し、農繁期託児所を開きました。共同浴場の開設、鳥越出産扶助会を結成するなどの活動も展開しました。

このころから、甚次郎の実践は全国の人々から注目され、多くの見学者が訪れるようになります。また、その活動は、多くの新聞・雑誌によって紹介され、講演などの講師依頼が相次いだため、多忙を極めました。

「鳥越隣保館」の設立

青年たちが全国各地から集まってきました。昭和七年、鳥越の南にあった古い小屋を借りて塾舎とし、最上共働村塾と名付けました。多くの住民がお互いの役割と責任を認め合い、相互関係を深めながら「共に働く・行動する」関係を築いていくという意味が「共働」には込められています。

塾生は四時に起床し、午前は農村や社会、政治の問題・農業経営・青年教育などの研究会、午後は畑仕事や堆肥作りを行い、夜は村塾の趣旨やその経営、行事などを論じ合っていたそうです。

したが、疲れた体にむち打って出かけ、熱弁を振るいました。

実践記録『土に叫ぶ』出版

昭和十三年、甚次郎は、当時衆議院議員だった羽田武嗣郎の強い勧めにより、過去十年間の実践記録「土に叫ぶ」を出版します。すると、たちまちベストセラーとなり、その後東京有楽座で新国劇として上演されたこともあって、甚次郎の名は全国に知れわたります。

次いで翌年、師・宮沢賢治の作品集『宮沢賢治名作選』を出版し、これが賢治の文学や思想を広く人々に知らしめるきっかけとなりました。

甚次郎土に帰る

昭和十八年は史上まれにみる干ばつの年でした。村では神仏の力に頼るよりほかなしとして、こぞって新田川の水源地、八森山に雨乞いに登りました。連日の過労に続く、無理な登山は甚次郎の体力を奪っていきます。かろうじて帰宅したもの、病に倒れ入院することとなります。そして、その病は癒えることなく、八月、三十五歳の若さで土に帰ってしまいました。



▲若者たちの前で語る甚次郎



▲鳥越隣保館



▲最上共働村塾と塾生たち

1932
(昭和7年)

最上共働村塾設立

1927
(昭和2年)

鳥越倶楽部結成
土舞台上演

3月に宮沢賢治を訪ねる

甚次郎が遺したものとは

「郷土の偉人」松田甚次郎が遺したものとは何だったのか。
最上共働村塾の元塾生達が組織した「最上の会」。
当時のメンバーは残っていませんが、鳥越地区では、
今もその意志・理念を伝えるために「最上の会」を継続して運営しています。
その事務局を務める松田周治さんに、
甚次郎と接していたころの思い出を紐解きながら語っていただきました。

■松田のあんつあ

村の人からは「松田のあん

つあ」と呼ばれていました。私は子ども心にも「忙しい人だなあ」という印象を持っていました。せつかにいつも何かやっていたように記憶しています。列車に自転車を載せて遠出しては、県庁などいろんなところを矢継ぎ早に回って、手続きや交渉などを行っていたそうです。

そんな甚次郎でしたが、大声で怒っているところを見たことがなく、穏やかな人でした。しかし、同時に自分の考えを貫徹する強い意志を持っていたんだ、と今は思っています。

■宮沢賢治の二つの言葉

賢治を訪ねた甚次郎は、最初「地主のボンボン」という扱いを受けたそうですよ。

そこで賢治から「小作人たれ」「農民劇をやれ」という二つの教えを受け、実践するわけですが、初めは小作人となった甚次郎と父親である甚五郎との間に軋轢もあつたようです。ただ、「農民劇をやれ」という言葉から鳥越土舞台をつくり、農村の水争いの空しさを説いた「水涸れ」を演じた甚次郎のメッセーを汲み取り、村をあげて新田川の転坂に堤を作ることを後押ししたのも甚五郎でした。

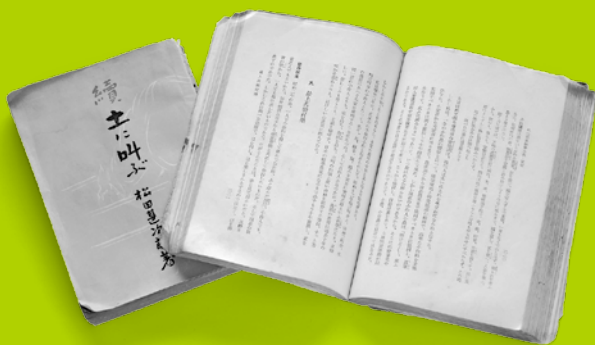
■賢治と甚次郎

当時、甚次郎は賢治よりも先に有名になりましたが、最上共働村塾の「塾長」を賢治とし、自分は「塾頭」として活動していたことでもわかるとおり、生涯賢治の教えを大切にしていました。

二人の死後、賢治の教え子たちが大勢鳥越にやってきました。それは「賢治の理想郷を実践し、実現した人」という認識が、彼らの中に



▲現在の転坂堤



『土に叫ぶ』と『続・土に叫ぶ』

1934
(昭和9年)

最上共働村塾が
2カ年の長期塾に

1933
(昭和8年)

鳥越隣保館を設立

甚次郎の日記▶



イーハトーブ
理想郷に生きた男たち

郷土の偉人 松田甚次郎

没後70年記念

松田 甚次郎展



JINJIRO MATSUDA
70th
ANNIVERSARY
EXHIBITION

期間 2013 12/14 土 → 2014 1/12 日 入場無料

会場 雪の里情報館 開館時間:午前9時～午後5時(金曜日は午後10時まで)
休館日:毎月曜日及び年末年始12月29日～1月3日

講演会「土に叫ぶ人、松田甚次郎ふるさとへのメッセージ」

■とき 2014年1月12日(日) 13:00開場 13:30開演 ■ところ 雪の里情報館2階雪国文化ホール

■講師 近江正人(元高校教諭・詩人)

◎詳しくは、続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222



講演会「土に叫ぶ人、松田甚次郎ふるさとへのメッセージ」
■日時 2014年1月12日 日 13:00開場 13:30開演 ■会場 雪の里情報館2階雪国文化ホール ■講師 近江正人(元高校教諭・詩人)
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222

■監修 松田甚次郎のふるさとプロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222
■主催 続・新庄の種プロジェクト ■共催 最上の会 ■協力 雪の里情報館・新庄ふるさと歴史センター・市民プラザ
■お問合せ先 続・新庄の種プロジェクト事務局・八鍬 TEL.090-2607-3222



■ 甚次郎が遺したもの
農地解放や小作料適正化運動、有機農業や多角的な農業の実践などの農村経営改革から、今でいう保育所の設置や女性の地位向上運動まで、数々のことを成してきた甚次郎ですが、それらは全て、支え合いながら共に生きていく農村を目指していたことだったと思います。

宮沢賢治の理想郷を鳥越に作り上げた甚次郎ですが、私たち後世の人間に遺したものは、心豊かな時間を共に過ごすための「互助」の心だったと私は思っています。

あつたからだと思います。
そして、その教え子たちは、「恩師賢治のそばに自分の遺骨を埋めてほしい」という甚次郎の遺志を汲み取り、花巻の羅須地人協会跡の賢治詩碑の横に遺骨を分骨しました。

甚次郎の理想郷

1938 (昭和13年) 「土に叫ぶ」を刊行、ベストセラーに。東京有楽座で「土に叫ぶ」上演

1939 (昭和14年) 宮澤賢治の作品集『宮澤賢治名作選』を出版

1943 (昭和18年) 8月、35歳で他界

雪の季節と

なりました

皆さん、雪への備えはお済みですか？

ここ数年、降雪の多い年が続いています。

雪は私たちの生活に大きく影響を及ぼしますが、うまくつきあっていかなければなりません。基本的なルールを守り、けがやトラブルなく冬を乗り切りましょう。

「雪多く寒い冬」

気象庁予報 12月～来年2月



■この冬の予想概況

仙台管区気象台が、十二月二十五日に発表した三カ月予報によると、十二月～二月は、平年に比べて、曇りや雨または雪の日が多いということ、降雪量は平年並か、多い確率がともに四十%と予想されています。いずれにしても、十分な準備や心構えが必要でしょう。

■市の除雪体制

市では、市道や申請を受けた私道などの除雪を行っています。毎日午前三時現在の降雪量が十センチメートル以上の場合に出動し、出勤者などが増える午前七時三十分までに

作業を終えるように努めています。また、路面に吹きだまりやわだちができていたり、積雪で道幅が狭くなったたりして通行しにくくなった場合にも出動することになっています。

道路の除雪は、建設業者などに全面委託しています。そして、排雪作業や幅出し作業などを市が直接行っています。

私道の除雪に関しては、所有者が行うのが一般的ですが、一定の基準を設け、該当する場合には申請により、市が除雪を行っています。また二度申請した私道については、翌年以降は手続きを簡略化し、制度を利用しやすくしています。

■除雪に関するお願い

除雪した雪を、玄関や車庫前に置いていかないでほしいとの声をいただくことがあります。朝の限られた時間内で、通勤や通学路を確保する必要があるため、対応は困難です。難儀をおかけする場合もありますが、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。また、消雪道路上に、スノーダンプなどで自宅の雪を置いていく方がいますが、道路は常時車両が通行する公共の場所です。また、車にも、人にも、非常に危険な行為ですので、絶対にしないようお願いいたします。

◎都市整備課道路維持管理室

☎内線529～532

雪対策事業の 一部を紹介します

● 流雪溝整備事業 ●

流雪溝の整備は、「第2次総合雪対策基本計画」に基づき順次進めており、平成24年度末の進捗率は52%となっています。

● 新庄市消流雪用水事業 ●

市内の河川は、冬になると極端に流量が少なくなり、流雪溝の水量に影響します。既存の「国営新庄農業水利施設」を活用し、豪雪期（1月～2月末）に最上川から取水して水量の確保を行います。

- 取水量 0.6t / 秒
- 通水時間 午前6時～8時、午後2時～4時
午後6時～8時の計6時間
- 受益面積 135ha

● 雪に強いまちづくり事業補助金 ●

次の経費の一部を補助しています。

- 生活道路等の除雪に要した経費
（10戸以上、50m 以上）
- 消雪パイプ施設の布設に要する経費
（10戸以上、30m 以上）
- 揚水機施設の設置に要する経費
（10戸以上、30m 以上）
- 消雪溝施設揚水機施設の設置に要する経費
（10戸以上、30m 以上）
- 除雪機の購入に要する経費
（5戸以上、除雪する道路延長が100m 以上）

◎お問い合わせは、都市整備課道路維持管理室
☎内線529～532へ



安全に、丁寧に、そして集中。

沼田建設(株) 土木部土木課主任
除雪オペレーター 押切 一家さん
かずや

除雪作業は午前3時からですが、出動指示があるかどうかは、それまでの降雪量や前夜の状況から何となくわかりますので、たいていは、指示よりも前に気持ちの準備はできています。指示を受け、機械の準備をしますが、何より大事なのは自分の心づもり。安全かつ丁寧に、速やかな作業が求められます。乗った瞬間から、自然に気持ちは引き締まりますが、その集中力を最後まで維持しなければなりません。

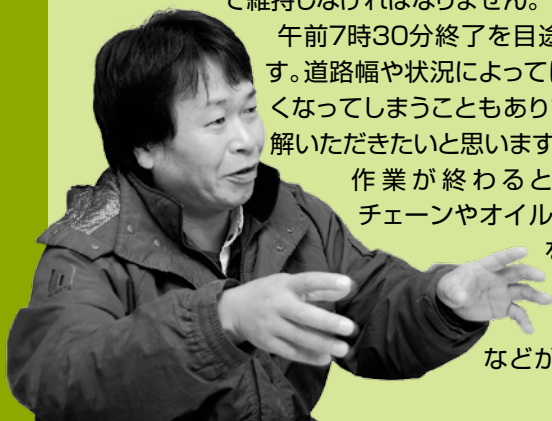
午前7時30分終了を目途に作業します。道路幅や状況によっては、終了が遅くなってしまうこともありますが、ご理解いただきたいと思います。

作業が終わると、除雪車のチェーンやオイル、ボルトなどをしっかり確認します。日誌の記帳などが終わると家

に帰って休憩です。しかし、正月すぎには、積んだ雪の排雪や、急な降雪による除雪作業などもできます。そしてまた次の定時出動…と、このサイクルが春まで繰り返されます。休む時間は減りますが、集中力は切らせません。

除雪のとき、特に気をつけているのがグレーチング（側溝などの鉄製のふた）の開閉状況です。巻き込むと機械が壊れるのはもちろんですが、その衝撃は大きく、けがをすることがあるのです。きちんと閉めてほしいと思うのですが、トラブルが発生するときはたいてい大雪で雪の寄せ場所に困るようなときですから、やむを得ない状況だったのでしょう。ただ、せめて目印があったらな…と感じたこともありました。

いろいろと苦労はありますが、除雪の仕事はだれでもできるわけではなく、特殊な技術や知識が必要な仕事と思っています。そしてその点に、使命感ややりがいを感じています。これからも、体が動く限り続けたいです。



事故に注意しましょう

雪下ろしに注意

毎年、雪下ろしに伴う事故が発生しています。安全には十分に配慮してください。

- 雪下ろしは早めに行いましょう。
- 落下防止のためロープを必ず使用し、複数の人で作業しましょう。
- 屋根の片側だけを集中的に下ろすと建物に大きな負担がかかります。重さが均等になるよう気をつけましょう。
- 下ろした雪は道路に出したりせず、運搬業者に依頼するなど適切に処理してください。
- 電線などの近くで作業するときは、感電や破損には十分注意してください。

火事にも注意

火の使用が増える季節、火の元には十分注意してください。万一の備えも重要です。

- 暖房器具は、洗濯物など燃えやすいもののそばには置かないでください。
- ガスボンベの転倒、ゴムホースの外れなどがないよう点検してください。
- 灯油の給油時は目を離さないようにしましょう。
- 外出時や就寝前には、必ず消火を確認しましょう。
- 冬期間は、雪囲いなどで住宅の出入

口が限定されがちです。非常口を二カ所以上確保しましょう。

流雪溝のルール

水上がり防止にご協力を

流雪溝の中にかけている鉄筋の格子ふたは、歩行者の安全確保と、水上がりを防止するためのものです。外さないで利用してください。

また、一斉に雪入れると、水上がりしやすくなります。できるだけ時間をずらすなどの工夫とともに、水上がりが発生した場合は、付近住民の皆さんのご協力をお願いします。

開けたふたは元に戻しましょう

投雪し終わったら、流雪溝の投入口に必ずふたをしましょう。そのままにすると、歩行者が落ちたり、除雪車により破損されたりします。

作業中、ふたを開けているときは、危険防止のため、旗などの目印を立ててください。

目印がなく除雪車などで破損した場合は、ふた（グレーチング）を利用者から修理していただくこととなります。



流雪溝には機械での投雪はしないでください

流雪溝などへの機械による投雪は水上がりの原因になります。絶対にしないでください。また、屋根から雪が直接流雪溝などに落下しないよう、雪崩止めをしてください。

空き家の雪下ろし、雪庇の除去

～所有者が責任をもって行いましょう～



空き家は所有者や管理者の目が行き届きにくく、雪が落下してとなりの建物を破損したり、屋根雪の重みで建物が倒壊するなどの被害が見受けられます。空き家の管理は、その所有者や管理者が責任をもって行わなければなりません。市民が安心して暮らせるよう、適正な空き家管理を促すための条例が平成25年1月1日から施行されています。

空き家であっても、それは所有者の財産です。空き家があること自体は、法律的にも問題ではありません。しかし、空き家が管理不十分な状態で放置されれば事故につながり、他人に損害を与えることもあり、その空き家の所有者や管理者が賠償などの責任を負わなければなりません。空き家を所有、または管理している人は、その責任を果たすよう、十分留意してください。

冬期間の空き家管理は、重大な事故につながるような危険な状態にしないことが最も大切です。次のことに注意し、空き家を適正に管理しましょう。

- ① 空き家の状態がどうなっているのか、定期的に確認する。
 - ② 所有者が遠方において積雪の状況が確認できない場合は、親戚や近所の方に連絡先を伝え、空き家の状況を把握する。
 - ③ 周囲の建物や道路に雪庇が落下しないよう、大きくならないうちに処理する。
 - ④ 屋根の雪が大量になるまで放置せず、早い時期に雪下ろしをする。
- 雪下ろしされていないなど、管理が不十分な空き家があるときはご相談ください。

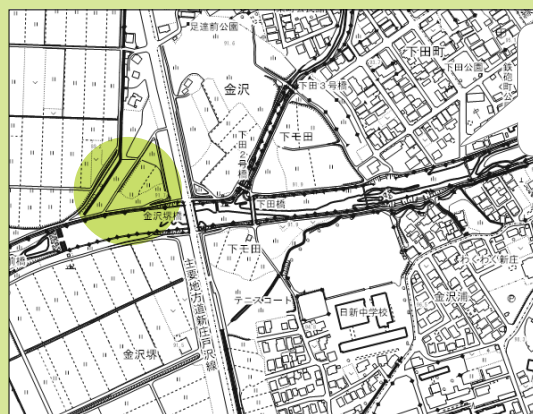
◎環境課地域防災室

☎内線4351・437

雪の

市指定雪捨て場は4カ所です

◎搬入時間(午前8時30分～午後5時)を厳守してください



■下田地区／下田地区内の升形川

※下田地区へは大型ダンプでの搬入はできません。



■仁間地区／新庄市農協仁間倉庫脇



■泉田地区／泉田河川公園上流



■福宮地区／浄化センター西側敷地



都市公園を雪捨て場として利用するときは

- 大型機械や、トラック・ダンプなどで雪を持ち込むことは禁止します。
- 近隣の皆さんが公園に雪を捨てる場合は、スノーダンプやソリなどで公園内の樹木や遊具を傷つけないよう注意してください。

小型除雪機をお貸しします

町内会などを対象に、短期間の「除雪機の貸出」を実施しています。

除雪機の利用をひとつのきっかけにしながら、冬期間に地域が抱える問題を解決するために、市ですべきことと地域でできることなど、新たな地域づくりを考えていきましょう。

- 対象団体 町内会など
- 貸出期間 12月19日(木)～3月14日(金)
- 貸出日数 1日～5日間程度
- 貸出台数 1台
- 利用方法 町内での公的な除雪(高齢者住宅・生活道路・通学路など)
- 申し込み 12月17日(火)～
- 申し込み先 都市整備課道路維持管理室へ。☎内線530・532

※町内会で、機械の運搬と傷害保険への加入が必要です。
※新規の長期貸し出しについては、事前に問い合わせ願います。



高齢者や障がい者への除雪などの支援

一定の条件を満たす高齢または障がいを持つ人のみの世帯の除雪などを支援します。

対象	次の全ての項目に該当する人
	①65歳以上の一人暮らしや老人のみの世帯、または心身障がい者のみの世帯 ②低所得者(本人と生計中心者の前年度所得税が非課税) ③自力で除雪作業ができず、親族や近隣者の作業や金銭的援助が受けられない人
回数	【雪下ろし】年間4回まで 【玄関前道路の雪払い】毎週2回で計2時間まで
料金	作業員一人あたり 【雪下ろし】1日1,100円 【玄関前道路の雪払い】1時間140円
申し込み	成人福祉課(代理申請可)で受け付けます。 印鑑と、心身障がい者は該当する障がい者手帳が必要です。

◎成人福祉課高齢障害支援室 ☎内線552

除雪ボランティア募集

高齢者世帯などの除雪を手伝っていただける人を募集しています。

- 活動内容及び時間 対象宅の軒先除雪(午前9時～午後3時までの2時間程度)
 - 持ち物 防寒具など
- ※ボランティア活動保険に加入していただきます。自己負担はありません。

◎市社会福祉協議会 ☎22-5797

減塩 de 健康

食塩の過剰摂取は、高血圧の最も重要な原因の一つです。
血圧が高いほど、脳卒中(寝たきりになる原因第1位)や心筋梗塞などを
引き起こす可能性が高くなります。
塩分を減らした食生活実践のため、『無理なくできる減塩のコツ』を
不定期シリーズで紹介します。

Lesson3 「だし」と「ゆず」で、美味しく減塩

「だし」のうまみと「ゆず」の香りで、減塩でも美味しくいただけます。いろいろな冬野菜でお試ください。

■冬野菜の煮びたし〜ゆず風味〜

〈材料4人分〉

- ・カブ……………2個
- ・ニンジン……………1/2本
- ・ミズナ…1束(4cmに切る)
- ・だし汁……………1ℓ
- ・酒……………大さじ2
- ・しょうゆ……………小さじ2/3
- ・塩……………小さじ1/4
- ユズの皮の千切り……………適量

〈作り方〉

※下準備…材料は適当な大きさに切る。

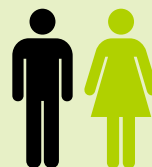
- ①鍋にだし汁を沸騰させて酒を加え、カブ、ニンジンを煮る。やわらかくなったら、ミズナを加えさと火を通し、しょうゆと塩を加えて火を止める。
- ②器に汁ごと盛り、たっぷりとユズをのせてでき上がり。



1日の食塩摂取目標

～日本人の食事摂取基準(2010年)より～

男性 9g



女性 7.5g

※血圧が高めの方は6g未満

食塩の
過剰摂取に
気をつけよう!

健康課では、公民館などで「出張減塩講座」を実施しています。また、毎週金曜日午前中に市保健センターで開催している健康栄養相談では、持参した味噌汁の塩分測定を行っています。詳しくは、お問い合わせください。

◎健康課健康推進室 ☎内線516

～創り 奏で 表現しよう～

新庄市子ども芸術学校

〈演劇部門〉

キッズシアターS 第6回公演



とき

12月22日(日)

午後2時30分～(開場午後2時)

ところ

市民文化会館大ホール

※入場無料



感情を豊かに表現する楽しさを体験し、芸術・文化に親しむ子どもを育てようと開校した新庄市子ども芸術学校。「音楽」「演劇」「表現活動」「造形」の4部門で活動しています。

～そのほかの発表予定～

■新庄吹奏楽団ジュニア部

12月15日(日)「一歩²フェスタ」

2月16日(日)「ゆめりあコンサート」

※会場はいずれもゆめりあ

■表現遊びサークル

12月15日(日)「一歩²フェスタ」

※会場はゆめりあ

2月23日(日)「第12回ちゃれんこ公演」

※会場は市民文化会館。

◎詳しくは、社会教育課へ。

☎内線462

いきいき仕事人!

(株)シントー山形工場

検査チーム 浅沼 俊征さん (川西6区)

当社では、射出成型(高温で溶かした樹脂を、金型に射出注入し、冷却、固化させて成型する方法)による、精密なプラスチック部品の製造、組立を手がけています。私は検査チームのサブリーダーとして、ここ山形工場での製造品検査の責任者を務めています。

毎日、射出成型作業の開始時と終了時に、部品を数点抜き取って決められた温度に1時間置いたあと、寸法の狂いが無いかを検査します。全ての部品で実施するため、かなりの仕事量で神経を使いますが、大きな責任がある分、やりがいと達成感を感じられる仕事だと思っています。

子どもの頃、プラモデルを作っていた時には、成型不良の部品によく泣かされたものでした。現在の業務を通じて『良品のみをお客様にお届けすること』がものづくりの原点だと強く感じています。先輩から受け継いだ精神を、私なりに後輩に伝えていきたいと思っています。



○ Company File No. 8

○ 株式会社シントー

○ 本社は東京都荒川区。平成元年に中核工業団地に進出。各種 OA 機器、
○ 電子機器の操作パネルやギア類など、
○ 精密なプラスチック部品の射出成型、
○ ユニット組立、シルク印刷が主力業務で、リコーグループを中心に納入実績多数。従業員60名



しんじょうの農業奮闘中!

金持ち豆(伝承野菜)



今から70年ほど前に、鮭川村から市内野中地区に持ち込まれた大豆の品種で、当時名の無かったこの豆は「みんなお金持ちになれたらいいな」という思いを込めて「金持ち豆」と名付けられました。

通常の大豆よりも大きく、大豆の味が凝縮されたような豊かな味わいが特徴です。

その反面、収穫量が非常に少ないことから、生産者が減り、今では野中地区の数軒の農家が栽培するのみとなっています。

私たちが作っています!

平成元年から「野中玄米みそ生産組合」を立ち上げ、玄米麹にこだわった減塩のみそ作りを行っています。

野中に伝わる伝承野菜「金持ち豆」は枝豆にしても大変おいしいのですが、豆腐やみそに加工すると格別においしいことから、数軒の農家が集まってみそ作りに挑戦することになったのです。

当時、数種類の大豆を検査分析し、みそ作りに最適な品種を検証しましたが、金持ち豆が他のどの大豆よりも良い数値となりました。

現在は地元での販売のほか、関東地方への注文販売などを行っていますが、委託加工にも力を入れながら更なる発展を目指していきます。



野中玄米みそ生産組合

今田浩徳さん 今田喜代美さん 笹原秀樹さん

11/
3

松竹大歌舞伎新庄公演

(市民文化会館)

当市では19年ぶりとなる歌舞伎公演が行われました。8月のチケット発売初日には朝4時から100名以上の行列ができたこの公演。昼夜の公演で約2,000人が来場し、演技はもちろん、色鮮やかな衣装や楽器の音色など、目の前で繰り広げられる歌舞伎独特の世界を堪能しました。

11/
8

台湾誘客プロモーション

(台湾)



台北市で、新庄・最上地域の魅力を紹介して、誘客につなげる観光商談会が行われました。現地の観光旅行社やメディア関係者を対象にした商談会の様子は、現地の旅行サイト「Yahoo! 奇摩旅遊」でも紹介されました。

11/
12

かやのみ会「第43回野間読書推進賞」

受賞報告(市役所)

長年読書の推進に努めてきた全国の団体から選ばれる「野間読書推進賞」。当市で読み聞かせやおはなし会を開催するなどの活動を続けてきた図書館ボランティアサークル「かやのみ会」が、このたび受賞し、その報告に訪れました。かやのみ会は創立26年目を迎えています。

11/
9

教育の日記念行事

(市民プラザ)

新庄混声合唱団のみなさんによる教育の日テーマソング「ここにコスモスを」の披露が行われたほか、児童・生徒を中心としたステージ発表、制作活動や民話語りなどの体験ブースもあり、多くの人でにぎわいました。



多彩な催しが行われた、「わらすこワンダーランド」

(11月16日／わらすこ広場)



県外の愛好家や、新庄東高生も参加した「新庄風フェスティバル」

(11月10日／新庄東高校グラウンド)



地域のものづくり技術の紹介が行われた、「しんじょう商工見本市」

(11月9日／ゆめりあ)

※ホームページでも紹介しています。

URL <http://www.city.shinjo.yamagata.jp/machitopi.html>

11/2

かむてんスタンプラリー& オータムフェア Join かむてん交流フェスタ(市内)

市内5つの商店街を会場に、100円商店街とスタンプラリーなどの催しが行われました。特設会場(街中ギャラリー駐車場)には、広報部長の「かむてん」も登場し、訪れた子どもたちは楽しいひと時を過ごしていました。

また、市内の小学生1,845人が描いた「かむてんイラスト」が会場に展示され、優秀作品の表彰式も行われました。

優秀作品は、市ホームページ(<http://www.city.shinjo.yamagata.jp/11051.html>)で紹介しているほか、12月いっぱい、市役所市民課ロビーに展示しています。



新庄市商店会連合会
会長賞
早坂琢磨君
(萩野小4年)



新庄青年会議所賞
青木実央さん
(昭和小5年)



新庄市長賞
小笠原康生君
(沼田小6年)

11/3

第4回新庄そばまつり (山屋セミナーハウス)



第4回を数える恒例の新庄そばまつりが、山屋セミナーハウスで開催されました。回を重ねるごとに入場者も増え、今年は約1,200人が来場し、新そばを堪能しました。

11/16

歯の長寿者表彰 (市民文化会館)

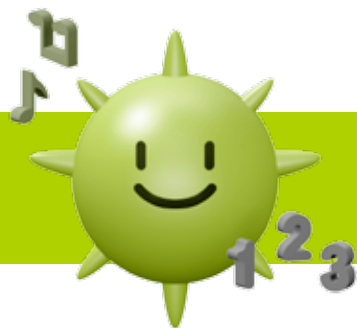
「80歳までに自分の歯を20本以上持つ」という8020運動。新庄歯科医師会では、毎年80歳以上で自分の歯を20本以上持つ人を表彰しています。今年度は34人の方が、「歯の長寿者」として認定され、表彰されました。



今年最後の「kitokitoMARCHE」と3月まで毎月開催される「kitokito 大学」。kitokito 大学は、「地元で楽しく生きるために学ぶ」をテーマに、各方面で活躍する講師を迎えて開催されます。(11月17日/新庄市エコロジーガーデン)

小学生による民話語りも披露された「泉田フェスティバル」

(11月17日/ゆめりあ)



プラス

子育て+教育チャンネル



学校レポート
～新庄中～

学び合い、支え合う教室を目指して



新庄中学校では、学校経営の柱に「生徒同士が学び合う授業（協同の学びづくり）」を掲げています。どの教室でも、男女混合の四人グループによる学び合いが展開されています。

生徒同士がお互いにつながり合い、支え合う学校を創っていくことが大きなねらいで、温かな思いやりがあふれる学校を目指しています。

また、教師が学習内容を一方的に説明する従来の講義型の授業では、生徒が自ら考えたり判断したりする力が育ちません。生徒同士の学び合いを通して、今、求められている社会を生き抜く力を育むねらいもあります。



十月三十日(水)には、東京大学名誉教授で教育学博士の佐藤学先生をお招きして、自主公開研究会を開催しました。

佐藤先生に普段の授業を参観して頂いたほか、校外からお招きした約百五十名の先生方に対して公開授業を行い、その授業に対する事後研究会なども行いました。

この様な取組みを通し、広く本校の理念を発信していくことで、「進んで関わり、お互いに高め合う生徒の育成」を目指していきます。



あそびの広場と子育て相談

わくわく新庄

12月17日(火)・1月7日(火)の午前

保健センター

12月24日(火)・1月14日(火)の午前・午後

萩野地区公民館

12月13日(金)の午前

※午前(10時～11時30分)
午後(1時30分～3時30分)

◎詳しくは、新庄市子育て支援センター
(わらすこ広場内)へ。TEL & FAX22-5115

8

にこにこ子育て

Q

A

Q 二歳の子ですが、言葉が出るのが遅くて悩んでいます。身体的な異常はないと言われたのですが…。

A 言葉の発達には個人差があります。聴覚や身体的な遅れがなく、お母さんの話すことが理解できていれば大丈夫。子どもの反応を見ながら言葉のやりとりをし、楽しく交流する機会を作っていきます。

ありのままの表現を認めてあげるとともに、ゆつくり、正しい言葉の使い方を伝えるつもりで話しかけてください。うまく発音できないからといって「○○でしょ!」などと直すのは禁物です。

※このコーナーでは、NPOなどの市民活動団体に関する話題と、地域住民による地域づくり活動に関する話題をそれぞれ交互に紹介していきます。



プライマルプロジェクト

プライマルプロジェクトは最上地域の小学生から高校生が中心となつて映画の上映活動を行っているグループです。映画館が無いこの地域で、平成八年に結成。それ以来、「自分達が観たい作品」を「自分達で上映する」ことをモットーに、これまで八十作品を超える映画を上映してきました。

★上映会までの流れとその裏側

まず、見たい作品を選び、上映日と会場を決めます。その後、市内外に掲示するポスターと配布するチラシやチケットの作成と振分けを行います。当日は機材搬入から会場の設営はもちろん、来場者の誘導や受付も、分担して行います。また、新庄出身の映画監督 長沼誠氏・大宮浩二氏の映画を上映した際には、「監督

メンバー募集中！

小学生・中学生・高校生を中心に、「映画を上映してみたい」というメンバーを募集しています！上映会のほかにも、図書館やわらすこ広場など、市内のイベントで「折り紙教室」も開催し、地域貢献をしながら仲間づくりを行っています。学校だけでは決して味わえない“楽しいやりがい”を一緒に体験しませんか？詳しくは<http://seinen.jp/>まで

◎ぶらっとTEL・FAX／23-6211



▲上映前の準備の様子

を囲む座談会」を企画するなど、映画好きのメンバーが楽しんで活動できる工夫もされています。
◎ぶらっと
TEL・FAX 23-6211

今月の司書NAVI

毎月図書館司書がおすすめの本を紹介します！

◎市立図書館 ☎22-2189
開館時間：午前10時～午後6時
休館日：毎週月曜日



蔵書検索



私の
おすすめの1冊

『ナラタージュ』 島本 理生(角川書店)

私と同年代の作家が書くストレートな恋愛小説です。ナラタージュとは、「映画などで、主人公が回想の形で、過去の出来事を物語る」こと。タイトル通り、主人公・泉が過去の恋愛を「回想」しながら物語は進みます。不器用な泉、だけど見ていて必死な姿は思わず感情移入してしまうほど。淡々と表現される登場人物の心理と丁寧に書かれた情景から、読んでいて映像が浮かんでくるようでした。

最後の数ページ…切なくて美しいところも、この作品の魅力の一つだと思います。

図書館インフォメーション

先月開催した「第13回 図書館まつり」の様子



▲リサイクル本の無料配布



▲手づくりしおり製作の様子

●今月の新着図書●

【一般書】

雪まろげ……………宇江佐真理
潮鳴り……………葉室 麟
猫を拾いに……………川上 弘美
イザベラ・バード 旅に生きた英国婦人…バット・バー
山伏ノート……………坂本大三郎
ワタノハスマイル 笑顔になったガレキたち
……………犬飼 とも・ワタノハキズ
手づくりが楽しいときめきお菓子の家…中村佳瑞子
見て楽しむ元素ビジュアル図鑑……………洋 泉 社
文章力の決め手……………阿部 紘久

【児童書】

クリスマスクッキング ふしぎなクッキーガール…梨屋アリエ
図書館のトリセツ……………福本友美子・江口 絵理
ぶたがとぶ……………佐々木 マキ
あめのひのくまちゃん……………高橋 和枝

「一案内」 市と労金の提携制度

ふるさと奨学ローン

■融資使途 高校や大学などの学
資金生活資金など ■融資額 最
高1,000万円 ■金利(保証
料込み) 年2.50%〜3.65%

■融資期間 10年以内 ※金利は
平成26年3月末日までのもので、
卒業後、県内に就職・就業した場
合は、それ以降の利子に対して元
金200万円を限度に年1.0%

の利子補給が受けられます。
生活応援ローン

生活応援ローン

■対象 市内での居住年数が1
年以上で、現在の勤務先に1年以
上継続して勤務している人

■融資使途 教育、医療、住宅、冠
婚葬祭費等の生活資金全般

■融資額 最高150万円

■金利 年2.6%(固定金利)

■融資期間 7年以内

◎東北労働金庫新庄支店 ☎22-7151

「ご注意ください」 不審電話にご注意ください

村山地方などを中心に、警察
官を騙り、金をだまし取る手口
として「偽造された通帳が見つ
つた」という電話がかかってくる
事案が発生しています。

不審な電話があったら警察に
お知らせください。

◎新庄警察署

☎22-0110

年金額が改定されます

これまでの年金額は、過去に物
価が下落したときに年金額を改
定せずに据え置いたため、本来の
水準よりも2.5%高い水準(特
例水準)になっています。そのため、
平成24年の法律改正により、平
成25年10月・平成26年4月・平成
27年4月に段階的に特例水準を
解消することにより、年金財政の
改善を図るとともに、将来の受給

者となる若い世代にも考慮した
世代間の公平を図ることとなり
ました。

年金受給者の方には、改定後の
年金額や支払額をお知らせする
年金額改定通知書・年金振込通
知書が順次発送されます。

◎新庄年金事務所 ☎22-2050

市民課 ☎内線133・134

申請のお願い

農業委員会選挙人名簿の登録

農業委員会委員選挙人名簿は、
農家の方の申請に基づき、毎年1
月1日現在の選挙資格を調査し
作成します。申請しないと、選挙
人名簿に登録されず、選挙があつ
ても投票できません。該当する
人は必ず申請してください。

■対象 ①10アール以上の農地が
あり、耕作を営む農業経営者

②①の農業経営者と同居する親
族またはその配偶者で、年間60日
以上耕作に従事する人

平成26年「新年市民の集い」 ～新年の夢を語り、飛躍の年に～

- とき 26年1月6日(月)午後3時～5時
- ところ 市民プラザ大ホール
- 参加費 1人1,000円
- 申し込み 参加費を添え12月19日(木)まで

◎詳しくは、総務課秘書・行革広報室へ。☎内線212

登録有形文化財として答申

雪の里情報館敷地内に併設する旧農
林省積雪地方農村経済調査所庁舎が、
国の文化審議会より、登録有形文化財と
するよう文部科学省に答申されました。

登録された場合、県内で149件目の登
録有形文化財となります。

◎詳しくは、社会教育課へ。☎内線461

建物の新築・増築・取り壊し していませんか。

建物(車庫・物置などを含む)の新築・増
築・取り壊しをした、または予定がある場合
は、税務課までご連絡ください。

適切な課税のために、日程調整のうえで
現地調査に伺います。

◎詳しくは、税務課資産税室へ。

☎内線144・145

平成25・26年度競争入札 参加資格申請の受付(追加分)

- 期間 26年1月6日(月)～31日(金)(土・日・
祝日を除く)
- ※詳しい申請方法、必要書類は市ホーム
ページをご確認ください。

◎詳しくは、財政課契約管財室へ。

☎内線241・242

■申請方法 〔農業協力員がいる
地区〕協力員を通じて配布する
申請書に記入し、協力員に提出

〔その他の地区〕農業委員会事務
局に提出 ■申請期限 26年1月
10日(金)まで

◎農業委員会事務局

☎内線256

参加者募集

クリスマス料理教室

- とき 12月19日(木)午前の部／
午前11時から 午後の部／午後
6時から ■ところ 市民プラザ
調理室 ■内容 フランスのクリス
マス料理作り ■講師 笹美知
子氏 ■材料費 2,500円

■申込締切 12月17日(火)

◎事務局・笹

☎22-2086

お気軽にご相談ください

住まいに関する無料法律相談

- とき 12月19日(木)午後1時30
分～4時 ■ところ 最上総合支
庁505会議室 ■相談員 県弁
護士会会員弁護士
- 申し込み 前日までに電話で
※先着4人

◎県営住宅指定管理者 (株)西王不
動産(最上事務所) ☎23-3116

変更のお知らせ

平成26年1月の不燃物回収日

不燃物の回収日が毎月第1水
曜日の町内については、1月の回

LPガス・灯油・上下水道工事
ガス給湯器・ガラストップコンロ・台所・浴室・リフォーム

— ガスを通して住宅設備のお手伝いをする —

(株) シンプロ

新庄市宮内町5番1号 TEL(代)22-1273

— 介護認定された方、障がい者の方限定の移送サービス —

介護100円タクシー

http://www.kaisei-company.com/
■介護保険内 30分以内 運賃100円
(予約制) ご不明な点は
※介護保険利用者の方は、
介護保険の自己負担が発生します。 お気軽にお電話下さい。
■介護保険外(障がい者の方1割引) 15分以内 運賃1,560円
カイセイ介護タクシー
TEL 0233-29-2912

催しなど

しめ縄飾り講座参加者募集

- とき 12月23日(月・祝)午後1時～4時
 - ところ ふるさと歴史センター
 - 講師 伊藤佐吉さん
 - 持ち物 手ぬぐい・はさみ
 - 受講料 1,000円
 - 申し込み 12月18日(水)まで(先着10人)
- ◎詳しくは、ふるさと歴史センターへ。

☎22-2188

産直まゆの郷からのお知らせ

いずれも場所は産直まゆの郷です。

土曜そばの日

新庄産のそば粉「最上早生」を使用した打ちたてのそばを販売しています。

- とき 12月～3月末までの毎週土曜日 午前11時～午後1時 ※12月28日・1月4日は除く
 - 料金 手打ちそば 温・かけそば400円／冷・もりそば500円
- ※まゆの郷の営業時間は通常通り(午前9時～午後6時)です。

年末みそか市

- とき 12月28日(土)～31日(火)午前9時～午後6時 ※31日は午後4時閉店

正月初売り

- とき 26年1月1日(水)～3日(金)午前9時～午後4時
- ◎年末・お正月用の農産物・花を豊富に取り揃えています。詳しくは、産直まゆの郷へ。

☎23-5007

かむてん大抽選会のお知らせ

- とき 26年1月12日(日) 午前の部／午前10時30分～11時45分 午後の部／午後1時～3時
 - ところ 午前の部／市民プラザ大ホール 午後の部／ゆめりあ交流広場
 - 内容 午前の部／かむてん劇場 宮沢賢治原作の「よだかの星」をかむてんバージョンにアレンジした演劇 午後の部／日新小学校ブラスバンド演奏、かむてん合唱団による合唱のほか、特賞旅行券3万円分があたる抽選会など。当日会場内には市内小学生が描いた「かむてんイラスト」も展示します。
- ◎入場無料です。詳しくは、かむてん抽選会実行委員会(新庄専門店内)へ。

☎22-6833

収日を第2水曜日(1月8日)とご連絡していただきましたが、都合により第3水曜日(1月15日)に変更させていただきます。ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

◎環境課環境保全室 ☎内線432

募集します

教育行政有識者委員会委員

家庭・学校・地域・行政が一体となつて、効率的・効果的な教育行政を実践していくため、市教育行政の在り方を総合的に審議する委員を募集します。

■応募資格 市内在住で公益的な観点から意見を述べられる人で、市の教育行政の充実に向上に意欲のある人 ■応募方法 公募委員申込書を郵送、持参、FAXなどで(教育総務課または、市ホームページに掲載) ■応募締切 12月24日(火)まで ※募集2～3人

◎教育総務課 ☎内線446

参加者募集 酒田日本海寒鰯まつりの旅

- とき 26年1月25日(土)・26日(日) 午前9時50分新庄駅集合(帰りは午後2時51分新庄駅着予定)
- 内容 陸羽西線「奥の細道最上川ライン」乗車 酒田日本海寒鰯まつり見物 ■料金 1,000円(寒鰯汁チケット付き)
- 申し込み 26年1月20日(月)までに電話で ■申込先 山新観光庄内支店(0234-2315105)
- ※各日先着60人

◎陸羽東線利用促進協議会(新庄市商工観光課) ☎内線251

シーズン到来

市民スキー場オープンのお知らせ

- とき 12月23日(月・祝)～26年3月2日(日) ■開場時間 土日・祝日及び年末年始(オープン日) 26年1月5日(日) 午前9時～午後9時

後9時 平日 正午～午後9時
※1月14日(火)・2月3日(月)は休場で、降雪状況によりオープン日は変更となります。

■無料開放日 オープン日最終日・1月12日(日)(小中学生のみ)・2月11日(火)

◎市民スキー場

☎22-7666(シーズン前)
☎25-3915(シーズン中)

勇気塾(若者園芸実践塾) 平成26年度塾生募集

- 募集要件 ①当市民で農業を志す原則18歳～45歳の人 ②将来にわたり農業経営を目指す人(農家であることを問わない)
- ③20歳未満の人においては親の同意が得られる人
- 研修期間 26年4月～27年3月末 ■研修内容 園芸作物(トルコギキョウなどの花き、野菜など)を主体とした栽培経営研修

■募集期間 26年1月31日(金)まで ※塾生の支援などについてはお問合せください。

◎農林課農村整備室 ☎内線266

ご注意ください

正しい操作で安全除雪!

毎年、除雪機による事故が多発しています。除雪機を使用する際には次のことを守って正しく、安全に作業を行ってください。

- ①安全装置が正しく作動しない状態では使用しない。
- ②周囲に人がいないことを確認し、人を絶対に近づけさせない。
- ③詰まった雪を取り除く際は、必ずエンジン停止し、全ての動作が止まったことを確認した上で行う。
- ④後進時は足元や周囲に特に注意し、無理のない速度で行う。

◎一般社団法人日本農業機械工業会 除雪機安全協議会
☎03-3443-0415

(破産・過払い金) 債務整理初回相談は無料です!!

新庄ひまわり基金法律事務所

山形県弁護士会所属
弁護士 石垣徹郎 ☎0233-28-7062

〒996-0024山形県新庄市多門町2-7 ネパールビル2階

債務整理(破産・過払い金請求等)・離婚(慰謝料請求等)・相続
交通事故・その他各種法律相談 法テラス無料相談取扱あり

2014年
ベビージョブミヤギ 初売り福袋ご予約受付中!!

毎年大人気♪大好評♪の福袋 今回も盛りだくさんの「服役」ご予約おまちしております!

☆e.a.B(♠♥)	80～130cm	¥10,500
☆ブルーアズール(♠)	100～140cm	¥7,350
☆S.T.クローゼット(♥)	110～130cm	¥7,350
☆Daddy oh Daddy(♠♥)	80～130cm	¥5,250
☆ニコリス(♥)	100～150cm	¥5,250
☆FARM(♠)	100～140cm	¥5,250
☆シ・シュ・ノン(♠♥)	80～95cm	¥5,250

♠男の子 ♥女の子

他にも多数の福袋のご予約受付中です! ぜひお気軽にお問い合わせ下さい。

※福袋取り扱いサイズは、80～160cmです。お渡しは、年明け1月2日(水)以降となります。

ご予約・お問合せは ☎ベビージョブミヤギ ☎22-0664 営業時間 9:30-18:30



かむてん奮闘記

故きを温ねて新庄を知る

温故知新庄!?

ホームページでさらに詳しい
取材記を掲載しています。



湯殿山のお年越しの日の十二月七日にサンゲサンゲが行われます。サンゲサンゲとは、この行事で唱える三山拝詞「さんげさんげ 六根罪障」に由来するもので「さんげ」は、懺悔に通じます。七日の晩に、一週間ほど行屋に泊まり込んで精進潔斎した「お行様」が、数十本の太い和蝋燭の灯が黒煙を上げる祭壇の前で、三山拝詞を唱えます。最後に、後で待ち構えていた子どもたちが、供物を取ろうとお行様を強く押します。それを守ろうとするお行様との攻防は圧巻です。しかし残念ながら市内でサンゲサンゲが伝承されているのは本合海だけとなりました。

文字を
見やすく
しました

本文にモリサウユニバーサル
フォントを使用しています。

湯殿山信仰と
サンゲサンゲ

